

令和4年度 事業報告について

コロナ禍3年目となった令和4年度は、感染拡大状況に留意しながらではあるが、徐々に、従来の地域活動が行えるようになってきた。

コロナ禍を通じて、オンラインツールを使用することの有用性が見えた一方、人と人とのつながり、集うことの重要性を実感した。また、令和2年3月から2年半続いた「生活福祉資金新型コロナウイルス特例貸付」が9月末に終了したことに伴い、生活困窮者への支援に本会の総合力とこれまで培ったネットワークをもってあたる必要性がますます高まったことを、職員相互に共有する機会を多く持ちながら、事業の推進と職員のスキル向上に努めた。

地域においても、ひとりぐらし高齢者ふれあい給食サービスやつどいの場、こどもの居場所等が、活動再開・拡充や新規立ち上げを行うにあたり、積極的に支援を行うとともに、地域活動に携わる方々や関係機関、区内社会福祉法人と協働しながら、地域住民の健康・福祉増進を目指し、事業に取り組んだ。

地域福祉事業においては、「あおい製作所」を毎週開催に拡充し、実施回数が倍増した。個別ケースへの対応と「あおい製作所」運営、地域へのアプローチを一連のつながりをもって行うことで、参加者の方々の意識の変容を促すことにつながるなど一定の成果につながった。

ボランティアセンター事業においては、新たな活動者の発掘を目的として講座を開催するとともに、受講終了後はグループとして活動できるよう組織化に取り組んだ。また、ボランティア活動を活性化させ、ボランティア自身がやりがいをもって長く活動を続けていくことができるための支援を行った。区役所移転に伴いボランティアルームが事務所横に確保され利便性が向上したことにより新事業であるボランティア入門講座や講座の振り返りの会、傾聴ボランティアの現地研修等を行うことができ、活動開始につながった。

共同募金・歳末たすけあい募金の配分金や善意銀行への寄付金の使途については、現状で必要とされる事業を柔軟に考え、新たに歳末たすけあい募金から生活福祉資金教育支援資金の借受をしている学生に対し支援を行った。

また、令和4年度は法人合併を含む区社協の機能強化を図るため新たな体制構築を検討する「市・区社協組織体制あり方検討会（神戸市社会福祉協議会《以下 神戸市社協という》設置）」に参加するとともに、本会理事・評議員においても意見交換を行うことを目的に懇談会を開催した。

I つながり、支え合えるまちづくりの推進

1. 地域福祉事業

既存の制度や支援体制では対応が困難な福祉課題や複合的な福祉課題を抱える方が地域の中で孤立してしまわないよう、地域の方々や専門機関等とのネットワークを構築するなど支援のしくみづくりを、地域福祉ネットワークを中心に、本会各職員が連携して実施した。変化する情勢に対応した地域支援のあり方及びその方策について検討・共有しながら、本会の総合力で多様な地域課題への対応をすすめた。

(1) 暮らし支援窓口等との連携による生活困窮者への支援

これまでの生活困窮者支援に加え、令和4年9月まで受付けた生活福祉資金「新型コロナウイルス特例貸付」における生活再建相談を行う中で、必要時に暮らし支援窓口との連携を図り、食支援等を行った。また、個別ケースの相談について、早い段階で暮らし支援窓口や他機関と情報共有し、様々な生活課題や地域における福祉課題の解決に向けて、地域住民組織と関係機関とのネットワークを構築しながらの支援を実施した。

- ① 住民が抱える対応困難な生活課題への支援 受付件数 98件
- ② 暮らし支援窓口との連携 151回
- ③ 支援調整会議への出席 12回

(2) 区役所内における連携と協働

生活に困難を抱えている方たちの課題解決に向けて、区役所内各課とケース会議や情報共有を行いながら支援を行った。また、地域情報や事業の共有を通じて、地域活動への支援を効果的に行うことができた。

- ① 地域支援担当課連絡会の開催 6回

(3) 個別ケースへの対応

(4) 地域における福祉課題の共有とネットワーク構築の支援

地域における課題について、地域住民、学校、地域の団体等で情報交換をしながら、やさしい地域づくりに向けて支援を行った。

- ① 地域福祉ネットワーク会議の開催 2地区

ア 雲中地域

- a) 開催日 令和4年11月7日(月)
- b) 場所 神戸市立雲中小学校
- c) テーマ 「外国にルーツをもつ子どもの現状と学習支援の居場所『地球っ子』の周知について」
- d) 参加者 地域住民・学校関係者・PTA 計15名

イ 籠池地域

- a) 開催日 令和4年12月21日(水)
- b) 場所 籠池地域福祉センター
- c) テーマ 「地域の担い手不足とこどもの居場所づくりについて」
- d) 参加者 地域住民・地域団体 計12名

地域福祉ネットワーク会議開催後、地域団体の方々とともに「こどもの居場所見学ツアー」を実施した。

令和5年3月22日（水）「地球っ子」外国にルーツをもつこどもの居場所
令和5年3月27日（月）「さくら café」こどもの居場所

（5）外国にルーツをもつ世帯への支援（地域交流）

外国にルーツをもつ世帯への支援や文化の違いを超えた相互理解を深めるため、様々な機関と連携して取り組んだ。

- ① 「外国にルーツをもつ方へ伝わりやすいコミュニケーションツールとしての
“にほんご“を学ぶ」雲中編 （再掲）

雲中小学校 PTA 役員が中心になり、PTA や保護者の方対象に、「やさしい日本語勉強会」を開催した。地域に住む外国にルーツをもつ方とコミュニケーションをとることにより、外国にルーツをもつ方々が孤立しないようなやさしい地域づくりを目指すきっかけとなった。また、ふれあいのまちづくり協議会が中心となって令和4年4月から開催している、外国にルーツをもつこどもの学習支援教室「地球っ子」について PTA や保護者の方々に知っていただき、地域と学校のつながりづくりを進めることができた。

ア 開催日 令和4年11月7日（月）
イ 場所 神戸市立雲中小学校
ウ 講師 神戸YWCA学院 福井 武司 氏
エ 参加者 15名

- ② やさしい日本語講座 ～葺合高校編～

籠池地域にある葺合高等学校において、「やさしい日本語講座」を開催した。籠池ふれあいのまちづくり協議会の方やフィリピンコミュニティの方にも参加いただき、地域の高校生が、地域づくりの一端を担うきっかけづくりとすることができた。

ア 開催日 令和5年1月17日（火）
イ 場所 神戸市立葺合高等学校
ウ 講師 神戸YWCA学院 福井 武司 氏
エ 参加者 31名

（6）「あおい製作所」の運営と支援者ネットワークづくり

就労準備支援実施事業所や支援者等と連携しながら、福祉的な課題等により地域や社会との関りが少なく、就労することが難しい方を対象に、やりがいや生きがいを感じることができる居場所としての「しごと」場（あおい製作所）の運営を行った。

今年度から市営住宅集会所の借用が毎週可能となり、従来の月2回から週1回に回数を増やしたほか、あおい製作所を卒業し一般就労やA型B型就労につながる方も出てくる等、参加者にとって、安心・安全な居場所として定着してきている。

- ① 開催回数 108回（うち出張開催20回）（令和3年度37回（内出張開催14回））
② 参加者数 延べ558人（令和3年度延べ248人）
③ ボランティア参加人数 延べ252人（令和3年度延べ85人）

（7）地域福祉ネットワーク事業 事例発表フォーラム「未来会議～10年の歩み、そしてこれからの未来（カタチ）～」(神戸市社協主催)への参画

地域福祉ネットワークが配置されて10年を迎え、地域福祉ネットワーク事業で取り組んだ困難な事例を通して、参加者と地域の福祉課題を社会化し、次の時代の取り組み方針を導きだすことを目的に事例発表フォーラムが開催され、中央区の事例報告を行った。

- ① 開催日 令和4年7月8日(金)
- ② 場所 スペースアルファ三宮
- ③ 内容 第1部 基調講演 市民福祉大学学長 松原 一郎氏
事例報告(灘区、中央区、兵庫区)
第2部 ワークショップ
- ④ 参加者 168名(内オンライン参加 88名)

(8) 社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット中央)の運営支援

本会事業への参加・協力をベースとしながら、近隣の施設で構成された各グループが、交流・災害研修・SNS 広報ツールの整備等、企画運営しながら活動することで、施設同士の関係づくりが進んだ。

① 組織運営に係る会議や研修会の企画・開催

- ア 総会 (対面およびオンライン) 1回
- イ 役員会 3回
- ウ リーダー会 1回
- エ 実務者研修会 2回(災害研修・支え合いミーティング)
- オ 実務者自主研修会 3回
(DWAT 研修・傾聴ボランティア養成講座・オンライン交流会)
- カ 実務者活動 はじめの一步ツアー 7回
オンライン交流会 2回
- キ 実務者グループ活動 5回
(「おうち時間を楽しむ」動画編集・オンライン交流会・災害研修企画運営
・基幹福祉避難所立ち上げ訓練参加・ほっとかへん SNS 開設)

(9) コロナ禍の地域支援事業

① with コロナ つながり応援事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響で一時停滞した、地域におけるつどいの場の運営活性化を図るため、ボランティアセンターに登録しているボランティアを中心に地域団体へ講師派遣を行う事業を実施した。

- ア 申込件数 23団体(延べ49日)
- イ 講師 団体 6グループ、個人 2名

② かもめんウォークラリー

コロナ禍でのつながりづくりとフレイル予防を目的に、地域住民の方とまち歩きを行い、高齢者の外出や交流を促進した。

ウォーキングのルートの中につどいの場の会場を織り交ぜながら、地域のつどいの場の周知を行った。かもめんウォークラリーサポーター養成講座を受講したサポートボランティアが、当日の参加者のサポートにとどまらず、ルート決め等企画調整段階から参画し、開催した。

回	開催日	実施エリア	サポーター数	参加人数
1	令和4年11月10日 (木)	楠北・楠南	6名	3名
2	令和4年11月17日 (木)	上筒井・宮本	6名	9名
3	令和4年11月21日 (月)	筒井・HAT 脇の浜	10名	16名

③オンラインサポーターフォローアップ講座

地域団体や本会が行うオンラインを利用した事業でサポートを行うことができる人材の養成を目的として、地域・施設と出演ボランティアをつなぐための知識を学び実践に結びつける「オンラインサポートボランティア養成講座」を発展させたフォローアップ講座を行った。機器の接続方法を中心に、出演ボランティアの協力のもと、実際に演奏をYouTubeで配信するための知識と技術を学んだ。

- ア 開催日 令和5年2月21日(火)
- イ 場所 中央区役所会議室・中央区文化センター
- ウ 講師 社会福祉法人 プロップ・ステーション
就労支援員 兼 関係機関連携担当 林 和也 氏
- エ 参加者 オンラインサポートボランティア養成講座 修了生 6名
出演ボランティア 2団体

(10) 中央区支え合いミーティングの開催

区内で地域活動団体が取り組む様々な活動内容等の情報交換をするとともに、地域の担い手不足の解消に向けて、地域と協力団体との出会いの場、連携のきっかけづくりの場とするため、開催した。

「地域活動の現状や活動事例」講義のあと、グループに分かれ、日頃の活動における問題意識や、解決のための方策について話し合い、共有した。

- ①開催日 令和5年2月25日(土)
- ②場所 中央区役所8階 801～803 会議室
- ③テーマ 「話そう！広めよう！つながろう！～地域みんなで元気になることを目指して～」
- ④講師 日本ボランティアコーディネーター協会 副代表理事 青山 織衣 氏
- ⑤参加者 37名

2. 高齢者福祉事業

高齢になっても安心して住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、生活支援コーディネーターを中心として、地域における高齢者の見守り活動の支援や高齢者の生活課題に対応する地域支え合い活動の推進を、地域団体やあんしんすこやかセンター等関係機関との連携により行った。

(1) 生活支援体制の整備

地域団体や区内7か所のあんしんすこやかセンター等と連携し、地域で支援を要する人を支え合う地域づくりを行う体制整備を進めた。

①あんしんノートの作成

区内の高齢者が住み慣れたまちでいつまでも自分らしく、心豊かに生活できるように、必要最小限の内容にまとめたオリジナルのエンディングノートをあんしんすこやかセンター等関係機関と連携しながら作成し、活用を推進した。民生委員、友愛ボランティア等の支援者に対しては、見守り訪問活動時のコミュニケーションツールとしての活用を依頼した。

②エンディングノートセミナーの開催

- ア 開催日 令和5年3月7日(火)
- イ 場所 中央区文化センター多目的ルーム
- ウ 内容 エンディングノートの意義と活用方法

エ 講師 一般社団法人くらし支援ネット 行政書士 若井 丹治朗 氏
オ 参加者 35名

③エンディングノート活用説明会の開催

令和2年度中央区地域ケア会議の実務者会を経て作成したエンディングノートを地域で活用いただくため、エンディングサポート協会から講師を招き、つどいの場でエンディングノートの活用説明会を実施した。

ア 開催日 令和4年11月2日(水)
イ 実施地区 港島地区(つどいの場)
ウ 参加者数 37名

(2) 高齢者見守り調査の実施

高齢者が地域で安心して暮らすことができるよう、中央区民生委員児童委員協議会と区内あんしんすこやかセンターの協力により、令和3年2月1日から令和4年1月31日までに新たに70歳となった単身世帯及び、新たに75歳以上の高齢者のみで構成される世帯、区内に転入された高齢単身、老々世帯に対し見守り必要の有無について郵送調査及び訪問調査を行った。

①調査時期 郵送調査 令和4年5月～6月
訪問調査 令和4年8月～10月
②訪問調査対象人数 高齢単身世帯633名、老々世帯279名 計912名

(3) 小地域における見守りネットワークの推進

①小地域支え合い連絡会への参画

あんしんすこやかセンターと連携し各地区民生委員児童委員協議会単位で年3回開催し、地域の高齢者見守りについて情報交換を行った。

ア 出席者 民生委員、友愛訪問ボランティア、あんしんすこやかセンター職員、本会職員等
イ 実施回数 19地区民生委員児童委員協議会 延べ57回

②災害復興住宅などでの見守り連絡会への参画

各住宅地域を所管するあんしんすこやかセンターが中心となって開催し、地域の高齢者見守りについて情報交換を行った。

ア 出席者 民生委員、友愛訪問ボランティア、復興住宅支援ボランティア、あんしんすこやかセンター職員、シルバーハウジングにおける生活援助員、警察等関係機関、本会職員
イ 場所 HAT神戸脇の浜住宅、大倉山高層住宅、筒井住宅、ルネシティ脇浜町住宅
ウ 実施回数 4地区 延べ32回

(4) ひとりぐらし高齢者ふれあい給食サービス事業 (資料1 実施状況参照)

内 容	実 績
活動グループへの運営費助成	20 グループ
年間延実施回数	230 回
延ボランティア数	1,623 名
延参加数	5,310 名

(5) ひとりぐらし高齢者友愛訪問活動事業

(資料2 実施状況参照)

内 容	実 績
活動グループへの運営費助成	79 グループ
ボランティア数	334 名
対象者数	658 名

(6) テレホンサポート事業「お達者コール中央」

訪問による見守りが難しい状況の中の有効な見守りツールとして、本会へ希望登録しているひとりぐらし高齢者へ、ボランティアスタッフが電話をかけてお元気確認を行った。また、テレホンサポート事業の充実を見据え、傾聴ボランティア養成講座を開催し、受講生に対して活動勧奨を行い、希望された方に対して実地研修を進めた。

実施日時	内 容	実 績
毎週火・木曜日 10:00～12:00	ボランティアスタッフ数	5 名
	対象者数	32 名
	実施日数	98 日

(7) つどいの場支援事業

地域住民によって身近な地域で自主的に運営される、高齢者の誰もが自由に参加できる「つどいの場」を充実させ、高齢者の介護予防と地域での支え合い体制づくりを進めていくため、運営支援及び新規立ち上げ支援を行った。

① つどいの場助成申請

申請件数 12 件 (助成件数 12 件)

② つどいの場交流会

つどいの場支援事業申請団体に対し、実績報告書作成のポイントの説明を行うとともに、各団体による活動紹介、意見交換の時間を設け、各活動の活性化を図った。

ア 開催日 令和5年3月9日(木)

イ 参加者 7 団体 (延べ7名)

3. 子育て支援事業

児童館の運営支援及び管理運営並びに地域の方々や関係機関との協働による地域ぐるみでの子育て支援活動の活性化を推進するとともに、子どもの孤食防止や学習意欲の向上をねらいとした子どもの居場所としての子ども食堂や学習支援の場の支援を、子育てコーディネーターが中心となって行った。

(1) 児童館の管理運営

神戸市社協とともに管理・運営する児童館(八雲、生田川、神戸諏訪山、清風の4館)と、学童保育コーナー(山の手コーナー)の職員の確保、雇用管理を中心に、管理運営を行った。

※入館者数 80,340 人/年(資料3 児童館利用状況参照)

(2) 児童館及び放課後児童クラブの運営支援

中央区内11児童館及び8学童保育コーナー(2学童保育コーナーは灘区)との連絡を密に取り、巡回などを通して支援を行った。

- ①子育てコーディネーターによる児童館及び学童保育コーナーの巡回
- ②児童館職員の資質向上を目指し、本会主催の研修会を実施（年3回）
- ③区内児童館の情報交換・共有のための合同館長会の実施（年3回）

（3）地域の子育て支援

①子ども子育てサポート事業「にこにこトレイン」

区こども家庭支援室（保健師）、こども家庭局地域子育て支援担当係長、地域の子育て支援者等と連携し、幼児と保護者が楽しく集い、交流する場を提供し、既存の子育てサークルの活性化を図った。

- ア 回数 5回
- イ 対象者 幼児と保護者 延べ115名（大人58名、乳幼児57名）
- ウ 会場 地域福祉センター（宮本・籠池・雲中）、北野工房のまち、神戸諏訪山児童館

②子育てコミュニティ育成事業

地域での子育て支援を進めるため、主任児童委員等が中心となり子育てコミュニティ推進協議会を設け、児童館でのイベント実施や日曜開放の取り組みを支援した。

また、プログラム内容についての情報交換会を開催した。

【子育てコミュニティ情報交換会】

- ア 開催日 令和5年1月17日（火）
- イ 場所 区役所8階804会議室
- ウ 参加者 6名

（4）こどもの居場所づくり事業への支援

こどもの居場所開催希望団体等への立ち上げ相談支援を行うとともに、情報交換会の開催等の運営支援を行った。また区内団体の神戸市こどもの居場所づくり補助金審査時には、運営団体及び開催予定地域の状況確認を行い、神戸市へ情報提供した。

①こどもの居場所 講演会・交流会 ※兵庫区社協との合同事業

ヤングケアラーへの理解を深め、こどもの居場所を実施する意義や重要性の再確認および、居場所実施団体同士のつながりづくりの促進を図ることができた。

- ア 開催日 令和4年9月30日（金）
- イ 場所 中央区役所8階会議室
- ウ 対象 (1)中央区・兵庫区内でこどもの居場所を実施している、または実施を検討している団体や個人
(2)主任児童委員など地域の支援者
- エ 内容 (1)講演会『沈黙のヤングケアラー その笑顔の内側に』
講師：尼崎市・宝塚市・県立湊川高校
スクールソーシャルワーカー 黒光 さおり氏
(2)こども若者ケアラー相談窓口について
こども・若者ケアラー相談・支援窓口 担当課長 上田 智也氏
(3)情報交換会（グループワーク）
- オ 参加者 48名

②中央区こどもの居場所づくり活動助成

助成実績 助成総額 150,000円

団体名	実施事業	助成額(円)
二宮こども食堂	こども食堂	50,000
5-en スキルラボ	こども食堂	50,000
健康育児相談所	こども食堂	50,000

③こどもの居場所立ち上げ・運営等の相談支援

新規：34件 継続：68件

(5) 中央区子育て応援事業の実施

コロナ禍におけるあそび提供の新しい形の構築および児童館の広報強化を行うため、児童館で実施している親子遊び、在宅で簡単にできる工作などの紹介や児童館への来館を促す謎解きゲームの動画を作成し、本会のYouTubeチャンネルで配信を行った。

①配信動画本数 年 10本

②内 容 乳幼児親子あそび・体操・簡単工作・謎解きゲーム

(6) 外国にルーツを持つ児童への支援

学校での勉強に不安を感じる外国にルーツをもつ児童への学習支援及び放課後の居場所となる場の運営支援を行った。

名称	実施主体	小学校区
はいず	(社福)イエス団 賀川記念館 NPO 法人神戸定住外国人支援センター 吾妻地域福祉ネットワーク会議	中央小学校
DAIJI メイト	大慈厚生事業会	湊小学校
Minatojima Kids 学習クラブ	(社福)イエス団 港島児童館	港島学園
地球っ子	雲中ふれあいのまちづくり協議会	雲中小学校

(7) 子育て世帯包括支援

増加する中央区内での虐待案件を未然に防ぐため、区こども家庭支援室と連携し、身近な社会資源である児童館を活用した在宅育児家庭への支援を強化した。

①子育て情報紙「ほっと♡ほっと」保存版の発行

区内の親子の集い場などの情報を集約した子育てマップを作成し、地域情報・社会資源の提供ツールとして、「はじめのいっぽツアー」の参加者や子育て関係機関等に配布した。

②はじめのいっぽツアー（ファーストステップ事業）

初めて地域の集い場に行く親子やプレパパ、ママに支援者が同行し、地域との関わりのきっかけづくりの支援を行った。

回	実施日	行き先1	行き先2	参加組数(組)
1	6月2日	大慈幼保連携型認定こども園	東川崎児童館	1
2	6月17日	市立あづま幼稚園	生田川児童館	3
3	6月28日	ロータリー子どもの家	清風児童館	1

回	実施日	行き先1	行き先2	参加組数(組)
4	7月6日		なぎさ児童館	1
5	9月13日	北野インターナショナルキッズクラブ	神女中山手保育園	3
6	10月4日	市立宮本保育所	籠池児童館	1
7	11月18日	市立神戸幼稚園	神戸諏訪山児童館	3
8	12月20日	神戸元町ちどり保育園	たちばな児童館	1
9	2月15日	みのり認定こども園	なぎさ児童館	1
10	2月24日	認定こども園ポートピア	港島児童館	2
11	2月28日	二宮保育園	二宮児童館	1
合計				18

※参加者数：乳幼児と保護者 延べ36名（大人18名、乳幼児18名）

③おしゃべりほっとタイム（子育て相談）

地域の身近な社会資源である児童館において、子育てに関する悩み相談を保健師、助産師、臨床心理士などの専門家が対応し、乳幼児をもつ母親の「育児不安の軽減、孤育をなくすとともに、虐待の早期発見・予防に努めた。

ア 実施回数 63回

イ 参加者 子育て中の保護者 延べ 509名（内、相談件数 延べ 332件）

ウ 会場 区内11児童館

4. 障がい者福祉事業

（1）中央区自立支援協議会への参画

障がい者の自立と社会参加を支援するため、中央区自立支援協議会の活動への参加、協力を行った。

①販売促進ネットワーク部会への参加

よってこ！かってこ！マーケット（区役所での販売会）への協力、区役所等でのチラシによる受注販売検討及び広報を行った。

②クリーンボランティアへの参加

12月の障害者福祉週間に、神戸駅周辺・吾妻地域で実施されたクリーンボランティア活動へ参加した。

③福祉学習の実施

神戸医療福祉専門学校の生徒を対象に、区自立支援協議会の取り組みと障がい者支援事業所の事例について学び、障がいへの理解を深めるための福祉学習を実施した。

ア 開催日 令和5年1月24日（火）

イ 参加者 神戸医療福祉専門学校介護福祉士科1年生 33名

ウ テーマ 障がいについて理解を深めよう

エ 講師 社会福祉法人神戸明輪会 中央区障害者地域生活支援拠点
スマイルいそがみサービス管理責任者 不破 彰男 氏
特定非営利活動法人中央むつみ会代表理事 坂井 宗月 氏
ピアサポーター 笠原 健 氏
たちばな障害者相談支援センター 森田 裕一 氏
いそがみ障害者相談支援センター 佐々木 佳代 氏

(2) 車いすの貸出

年間取扱い件数 110 件

(3) 手話の普及促進

「神戸市みんなの手話言語条例」に基づき、市民や事業者に対して、聴覚に障がいのある方への理解促進や手話を学ぶ機会として、手話入門講座を開催した。

- ①名 称 中央区手話入門講座
- ②期 間 令和4年6月15日～11月2日 毎週水曜 13:30～15:30
全21回
- ③場 所 神戸市立総合福祉センター他
- ④参加者 17名（うち修了13名） のべ参加者291名

5. 相談・援助事業の実施

(1) 心配ごと相談所の運営

民生委員が、区民の心配ごと・悩みごとの相談に応じ、助言を行った。毎月第2火曜日に開催、実施回数12回。

(2) 成年後見制度の利用手続き～中央区相談窓口の開設～

成年後見の相談ニーズに応えるため、神戸市社協が実施する無料相談窓口を中央区役所内で開設した。毎月第4木曜日に実施、実施回数11回。

(3) 生活福祉資金の貸付

令和2年3月から開始された「新型コロナウイルス特例貸付」事業が、令和4年9月末日をもって終了した。相談件数は令和3年度の年間5,356件よりは減少したものの、4,637件の対応にあたった。また、生活福祉資金貸付相談に来られた方について、くらし支援窓口との情報共有・連携を密にし、必要に応じて地域福祉ネットワークとの協働により世帯支援を行った。

①生活福祉資金（※「新型コロナウイルス特例貸付」以外）

低所得世帯・障害者世帯・高齢者世帯の経済的自立のため、教育支援資金や生活必需品購入等資金の貸付を行った。

ア 電話・来所延べ相談件数 2,264 件

イ 教育支援資金説明会

目 的：高校進学にあたり必要な資金が捻出できない家庭に対し、進路指導段階で迅速な対応ができるようにする。

対 象：中央区内公立中学校教諭（7校中6校6名参加）

開催日：令和4年10月19日（水）

会 場：中央区社協 ボランティアルーム

ウ 貸付状況

資金種類	貸付決定件数 (件)	貸付決定金額 (円)
教育支援資金	61	21,284,000
福祉資金	1	84,000
緊急小口資金	15	1,198,000
つなぎ資金	2	80,000
総合支援資金	0	0
計	79	22,646,000

②生活福祉資金「新型コロナウイルス特例貸付」

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、休業や失業等により収入の減少等があり、緊急かつ一時的な生活維持のための費用を必要とする世帯に、9月末日の受付期間終了まで、緊急小口資金及び総合支援資金の貸付に関する相談、受付業務を行った。また、令和5年1月から償還が開始されるにあたり、償還免除を含む償還に関する相談、償還口座登録の受付業務を行った。

ア 相談・申請・貸付状況

種類	来所相談 (件)	電話相談 (件)	申請受理 (件)	決定件数 (件) ※	貸付決定額 (円) ※
緊急小口	398	357	146	148	28,790,000
総合支援	773	303	119	2,364	63,700,000
計	1,171	660	265	2,512	92,490,000

※決定件数及び貸付決定額には、神戸市社協コールセンターでの受付分等を含む。

イ 償還状況

種類	来所相談 ※	電話相談 ※	口座登録受付
緊急小口・総合支援	255 件	287 件	162 件

※令和4年10月1日以降の件数。9月以前の相談件数はアに含む。

II つながり、支え合うこころの醸成

1. ボランティアセンターの運営

(1) ボランティアの登録・コーディネート

①ボランティアに関する相談受付

ア 相談・情報提供件数 延べ 1667 件

イ ボランティア共済、助成金情報、ボランティア紹介、活動紹介等

②ボランティアの登録

ア 個人登録 170 名

イ 団体登録 278 団体

③ニードの受付

ア 件数 個人より 15 件、団体等より 57 件 合計 72 件

イ 内容 外国人支援、家事支援、行事出演、外出支援等

(2) ボランティア講座・研修会の開催

①中央区手話入門講座（再掲）

②かもめんウォークラリーサポーター養成講座

ア 趣 旨 本会が実施するかもめんウォークラリーをサポートするボランティアを養成する

イ 開催日 令和4年6月14日（火）

ウ 場 所 神戸市総合福祉センター4F 第5会議室

エ 講 師 神戸市スポーツ協会（中央体育館） 谷口 詩織氏
タウンガイド KOBE24 鹿田 嘉博氏
個人ボランティア 釜野 栄男氏

オ 参加者 39名

③セカンドライフ応援講座（(3) ボランティア活動の支援と活性化・組織化

【取り組み事例】参照)

項 目	第1回	第2回	第3回	第4回
開催日	令和4年 8月23日(火)	令和4年 9月6日(火)	令和4年 9月13日(火)	令和4年 9月27日(火)
場 所	中央区役所 801	中央区役所 801・802	中央区役所 801・802	中央区役所 801・802
講 師	motto ひょうご 栗木 剛 氏	コミュニケーション 麻雀グループ 笑・あかり	中央区登録ボラ ンティア3名 KIITO 加藤 慧 氏	motto ひょうご 栗木 剛 氏
内 容	「はじめての地 域デビュー」に ついて	コミュニケーシ ョン麻雀体験	ボランティア体 験談を聴く	「はじめのいっ ぽを踏み出そ う」
参加者	19名	18名	18名	18名

④セカンドライフ応援講座振り返りの会

項目	第1回	第2回
開催日	令和4年10月25日(火)	令和4年11月29日(火)
場 所	中央区役所ボランティアルーム	中央区文化センター調理室
講 師		・居場所 青い鳥 浅尾 久子 氏 ・KIITO 加藤 慧氏
内 容	・コミュニケーション麻雀勉強会 ・講座振り返り	・ふれあい喫茶の活動について ・コーヒーじいと美味しいコーヒ ーの淹れ方体験
参加者	7名	13名

⑤傾聴ボランティア養成講座

ア 趣 旨 ボランティア活動に必要な傾聴のマインドと技術を学ぶとともに活動へのきっかけとする。また、施設での傾聴ボランティア活動につながるように施設の現状について聴く。

イ 開催日 令和4年11月1日（火）

ウ 場 所 中央区役所 8F 会議室

エ 講師 会話の泉 事務局長
コミュニケーションサポーター 横山 由紀子氏
障害福祉サービス事業所神戸イリス 生活支援課主任 山本賢太氏
特別養護老人ホーム山手さくら苑 施設長 野尻信一郎氏

オ 参加者 40名

⑥オンラインサポーターフォローアップ講座（再掲）

⑦ボランティア入門講座

開催日	参加人数	内容
令和5年2月17日	5名	中央区でボランティア活動を始めたい方を対象にしたボランティアの基礎知識や心構えについてのミニ講義と簡単なボランティア体験。毎月実施。
令和5年3月17日	3名	

⑧神戸市社協市民福祉大学主催「精神保健福祉ボランティア講座」出講

地域でのボランティア活動を推進することを目的に、全4回中最終回「区のボランティアセンターについて」の講話を行った。

ア 趣 旨 精神保健福祉への理解促進とサポートボランティアの育成
イ 実施日 令和4年10月7日（金）
ウ 場 所 こうべ市民福祉交流センター
エ 参加者 34名

（3）ボランティア活動の支援と活性化、組織化

①中央区ボランティア交流会

「どうするボランティア～みんなの“やってみよう”をカタチに～」

ア 開催日 令和5年3月4日（土）
イ 場 所 中央区役所8階会議室
ウ 講 師 あそびの工房もくもく屋
事務局長 コミュニケーションデザイナー 田川 雅規氏
エ 内 容 ボランティア体験ブース（スポーツ吹矢、アロマスプレー作り、
コミュニケーション麻雀体験、メッセージカード作り）
講師による講義とワークショップ
オ 参加者 59名

②神戸婦人大学生向け相談会への参加

神戸市社協が神戸婦人大学生を対象にボランティアセンターの広報と地域活動の推進を目的として実施する活動相談会に参加し、中央区での活動希望者を対象に、中央区に寄せられるニーズや活動についての相談に応じた。

ア 実施日 令和5年3月8日（水）
イ 場 所 あすてっぶ神戸3階
エ 参加者 6名（うち2名登録）

【取り組み事例】

ボランティア講座受講生により、レクリエーションのボランティアをグループ化

退職後や子育てがひと段落された後の人生を豊かにするための“生きがい”や“やりがい”を見つけることや、社会問題となっている孤立を防ぎ、ボランティアを通じて同年代の方とのつながりをつくることを目的とし、「セカンドライフ応援講座」を実施。講座により今まで培った知識・技術・経験等「シニアの力」を有効活用できる場所や機会について知り、自らが生活

する地域に目を向け、地域課題解決のためのボランティア活動へつなぐこともねらいとした。講座で「コミュニケーション麻雀」を行うグループの活動を知り実際に体験していただくことから発展し、振り返りの会を行うなどフォローアップを丁寧に行うことで、受講生有志を組織化し、「コミュニケーション麻雀」を地域に出向いて実施するボランティアグループが立ち上がった。実際にボランティアの依頼を受け、活動実施に至った。

(4) ボランティア活動紹介冊子の作成

中央区登録ボランティアの広報と施設や地域での活動先開拓を目的に作成。

本会ホームページ (<https://chuou-shakyo.or.jp/>) に掲載し、今後も随時、情報更新を行う。

(5) 福祉教育の推進

①中学生防災教育支援事業

防災・減災学習の視点から、中学生自身が身近な地域に目を向け、災害発生時に「地域の支援者」として貢献できる力と可能性が内在していることを自覚し、地域の大人とともに安全・安心なまちづくりに参画していく意欲を培うことを目的として実施した。

開催日	令和5年1月13日(金) 13:10~15:00	令和5年1月20日(金) 10:20~12:00
場 所	神戸市立筒井台中学校	神戸市立湊翔楠中学校
講 師	クロスロード研究会 中村 美保氏	
内 容	災害対応カードゲーム教材「クロスロード」を活用した防災学習	
参加者	101名(中学生92名、教諭7名、中央消防署1名、区まちづくり課係長1名)	171名(中学生156名・教諭10名、橘ふれあいのまちづくり協議会1名、東川崎ふれあいのまちづくり協議会2名、中央消防署1名、区まちづくり課係長1名)

②障がいへの理解を深める福祉学習(再掲)

③共同募金についての学習

共同募金の使いみちと地域の福祉について学習した。

ア 第一学院高等学校(令和4年7月22日(金)実施)

共同募金の使いみちと地域の福祉についての学習後、共同募金委員会と協力して募金グッズの作成に取り組んだ。

イ 区内小学校(10月実施)

各校の協力のもと、小学校【6校(中央、上筒井、雲中、湊、こうべ、なぎさ小学校)】の朝会において啓発活動を行った。

(6) 「KOBESINIA元気ポイント」制度の運営への協力

市が主催する制度の説明会において、ボランティア活動の説明を行った。

回	開催日	場 所	参加人数
1	令和4年 6月21日(火)	総合福祉センター	1名
2	令和4年 8月29日(月)	総合福祉センター	2名
3	令和4年10月27日(木)	総合福祉センター	2名
4	令和5年 2月10日(金)	総合福祉センター	7名
5	令和5年 3月16日(木)	産業振興センター	3名

(7) ボランティア活動に対する助成

① ひょうごボランティア基金「県民ボランティア活動助成」申請の受付

ア エントリー受付 110グループ

イ 交付申請 89グループ

② 神戸市社会福祉協議会ボランティア基金 ボランティアグループ活動助成

交付申請 8グループ

(8) ボランティアルームの運営

新庁舎移転後、区役所内にボランティアルームを設置し、ボランティアグループの活動の支援を図り、53件の利用があった。

(9) 地域団体、ボランティアグループへの備品貸出

高齢者疑似体験セット、コミュニケーション麻雀、オンライン接続機器等 4件

(10) ボランティア災害共済等の受付

内 容	実 績	
兵庫県ボランティア市民活動災害共済加入	407件	4,337名
兵庫県ボランティア市民活動災害共済給付金	14件	1,896,200円
兵庫県ボランティア活動等行事用保険加入	195件	15,577名

2. 募金活動等助成金の広報・啓発

中央区共同募金委員会による赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動にお寄せいただいた募金について、中央区の社会福祉団体、社会福祉施設、ボランティアグループ等へ助成することにより、区内の地域福祉の活性化を図った。

(1) 赤い羽根共同募金助成金事業

① 令和4年度 募金実績額 7,654,827円(1月～3月の拡大期間実績含む)

※拡大期間募金実績額 965,991円

② 社会福祉団体・施設等への支援 (資料4 配分事業一覧参照)

③ 公募助成の実績 助成総額 1,393,000円

Aタイプ	団体名	事業名	配分額(円)
1	神戸市重度心身障害者父母の会 中央支部	介護が楽になる・ツイの住まいを探すプロジェクト	172,000
		Aタイプ計	172,000

B タイプ	団体名	事業名	配分額（円）
1	生田地区更生保護女性会	更生保護支援事業	36,000
2	ASOBI の森	子育てボランティアグループ立 ち上げ事業	70,000
3	Teenagers' Free! Theater	ちょっと学校に行きにくい10 代のための演劇サークル	100,000
4	健康育児相談所	健康育児相談所事業	100,000
5	第一学院高校ボランティ アプロジェクト	地域の居場所カフェ Full of smiles cafe	90,000
6	神戸市看護大学ボランテ ィア部	With コロナ時代の地域高齢者の 健康支援	50,000
7	ふれあいサポート愛	ふれあいサポート愛事業	100,000
8	神戸市少年団野球リーグ 中央地区委員会	令和4年度神戸市少年団野球リ ーグ中央地区事業	75,000
9	一般社団法人自分の花を 咲かせる会	憩いの場「かくしゃく倶楽部」	100,000
10	関西天使ママサロン神戸 エンジェライト	周産期喪失当事者への心理社会的 的支援（グリーンケア）	100,000
11	中央区保護司会	第12回社会を明るくする運動 高校生エッセイコンテスト・小 中学生作文コンテスト・公開ケ ース研究会・ミニ集会	100,000
12	神戸市手をつなぐ育成会 中央支部 本人学習グル ープ「てとて」	知的障がい者とともに交流しよ う	50,000
13	マサヤンタハナン	フィリピンの行事を紹介する： ハロウィンとクリスマス	100,000
14	真生乳児院	クリスマス会	50,000
15	笑顔茶屋	笑顔茶屋事業	100,000
Bタイプ計			1,221,000
Aタイプ・Bタイプ合計			1,393,000

（2）歳末たすけあい募金運動

- ① 令和4年度募金実績額 3,829,040円
- ② 配分内訳

対 象	金額（円）
ひとりぐらし高齢者（85歳以上817人）	817,000
重度心身障害児家庭（77世帯）	385,000
交通遺児家庭（1世帯）	5,000
障害児者団体（3団体）	75,000
ふれあい給食会（16グループ）	428,000
子育て世帯への支援（50世帯）	500,611
教育支援資金を借りられている人への支援（10人）	50,000

(3) 善意銀行の運営

広く市民や団体から善意の金品の寄付を受け、その浄財を中央区の福祉増進のため活用した。

コロナ禍において影響を受けやすい子どもたちや親子を応援するため令和2年度より実施している「地域まるごと応援プロジェクト」を継続し、助成事業を実施した。

①預託

ア 金銭預託	21 件	1,276,163 円
イ 物品預託	10 件	1,437,159 円分 (大型絵本、文具、マスク等)

②払出

ア 金銭払出		613,266 円
イ 物品払出	69 件	1,437,159 円分 (神戸市内児童福祉施設等)

【金銭払出内訳】

項目	払出金額	内容
こども×笑顔 地域まるごと 応援プロジェクト	442,806	キッズボランティア 青空こどもプロジェクト ・ランスタ神戸 ・かば☆うま ・あそびの工房もくもく屋
多世代・地域交流 事業助成金	20,000	・生田川児童館 ・清風児童館 各 10,000 円
児童福祉	46,500	児童用車いす購入
交通遺児助成金	20,000	対象者 1 名 (高等学校卒業祝金 20,000 円)
火災見舞金	80,000	火災世帯への払出
障害者福祉	3,960	車いす修理
合計	613,266	

3. 顕彰 (理事長感謝状の贈呈)

(1) 功績の内容及び対象者 (敬称略)

- ①金品の寄贈 (1 名) 匿名
- ②物品の寄贈 (2 団体) 川崎重工労働組合 神戸支部
ニッポン印刷株式会社
- ③社会福祉功労 (1 名・4 団体)
笑顔茶屋
カフェふらっと
非営利インターナショナルボランティアグループ CARE
リズムダンス・フラダンスグループ
個人

4. 広報・啓発活動の推進

(1) インターネットホームページ、Facebook、Instagram の運営

区社協ホームページアドレス : <https://chuou-shakyo.or.jp/>

(2) 広報掲示板「ペチュニアギャラリー」の運営（令和4年7月で終了）

区役所1階フロア壁面の掲示版に、子育て支援事業や共同募金運動等を広報。

(3) 高齢者向け情報紙「みみより」の発行

年6回、あんしんすこやかセンター（地域支え合い推進員）、中央区保健福祉課と共同発行。ひとりぐらし高齢者等に配布。

(4) 子育て情報紙「ほっと♡ほっと」保存版の発行（再掲）

5. 地域福祉活動推進計画（第2期）の取り組み状況

これからの中央区の地域福祉に関する中長期の課題の明確化及び取り組みの重点項目の明確化のため、令和2年度に新たな5カ年の計画として本会が策定した地域福祉活動推進計画（第2期）の取り組み状況について、進捗確認を行った。

令和4年度事業報告 付属明細書

会議名	開催日	会場	内 容
理事会	R4. 6. 6	勤労会館	顧問の委嘱について 令和3年度 事業報告及び収支決算報告 について 評議員選任・解任委員の推薦について 評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任 委員会の開催について 令和3年度決算にかかる定時評議員会 の開催について 「市・区社協組織体制のあり方検討会」の 出席について
	R4. 7 月	書面	定款の変更について 令和4年度 第2回評議員会について
	R5. 3. 17	区役所 *オンライン併 用	令和4年度補正予算(案)について 令和5年度事業の受託契約について 役員賠償責任保険契約について 令和5年度事業計画(案)及び歳入歳出予算 (案)について 令和4年度 第3回評議員会について
評議員会	R4. 6. 24	勤労会館	令和3年度 事業報告及び収支決算報告 について
	R4. 8 月	決議の省略	定款の変更について
	R5. 3. 28	中央区 文化センター	令和4年度補正予算(案)について 令和5年度事業計画(案)及び歳入歳出予算 (案)について
善意銀行 運営委員会	R4. 5. 30	区役所	令和3年度歳入歳出決算について
	R5. 3. 10	区役所	令和4年度歳入歳出中間報告について 令和5年度事業計画(案)及び預託・払出 (案)について
監事監査	R4. 5. 23	区役所	令和3年度事業報告について 令和3年度決算について その他
評議員選任・ 解任委員会	R4. 6. 8	区役所	評議員の選任について
歳末たすけあい 募金配分会義	R4. 12. 12	中央区 文化センター	令和4年度 募金実績報告・配分内容(案) について
役員懇談会	R4. 12. 15	区役所	市・区社協組織体制のあり方検討について
評議員懇談会	R5. 1. 20	中央区 文化センター	市・区社協組織体制のあり方検討について

資料 1

令和4年度ひとりぐらし高齢者ふれあい給食サービス実施状況

(単位：人)

	団体名	実施回数	延参加ボランティア数	延参加高齢者数	参加者合計	平均参加者数	備考
1	吾妻ふれあいお食事会	12	80	245	325	27	
2	楠北ふれあい給食	12	36	393	429	36	
3	雲中あじさい会食会	3	50	77	77	26	
4	ふれあい会食会山手	11	203	329	532	48	
5	上筒井あじさいふれあい会	11	102	231	333	30	
6	東川崎ふれあいのまちづくり協議会	11	117	532	649	59	
7	宮本ふれあい会	24	221	343	564	24	
8	小野柄ふれあい給食会	12	23	420	443	37	
9	下山手ふれあい会	6	50	300	350	58	
10	生田川地区ふれあい会	12	92	157	249	21	
11	北野ふれあい会	10	135	202	337	34	
12	春日野ふれあい会	3	36	114	150	50	
13	神戸諏訪山ふれあい会食会	11	90	185	275	25	
14	若菜ふれあい給食会	2	19	31	50	25	
15	ルネシティふれあい会	12	60	262	322	27	
16	二宮ふれあい給食会	12	68	320	388	32	
17	ソロソロ会	10	54	82	136	14	
18	百寿あゆむ会	12	36	219	219	18	
19	ふれあい会キズナ	21	105	333	438	21	
20	心のふれあい会 ひまわり	23	46	535	581	25	
	合計	230	1,623	5,310	6,847	30	

平均 平均 平均 平均
11.5 81.2 265.5 342.4

資料2

中央区ひとりぐらし高齢者友愛訪問実施状況

令和5年3月末

No	地区名	グループ名	ボランティア数	対象者数	No	地区名	グループ名	ボランティア数	対象者数
1	上筒井	上筒井第1グループ	3	3	41	小野柄	小野柄第8グループ	3	6
2		上筒井第2グループ	3	3	42		小野柄第9グループ	3	10
3		上筒井第3グループ	4	6	43	生田	異人館	3	4
4		上筒井第4グループ	4	4	44		北野友愛	4	13
5		上筒井第5グループ	3	9	45	山手	山手地区A	5	12
6		上筒井第6グループ	5	5	46		山手地区友愛B	6	9
7	雲中	雲中第一グループ	5	6	47		山手地区友愛C	6	18
8		雲中第四グループ	5	5	48	下山手	神戸長寿会	8	15
9		雲中第五グループ	5	5	49		大倉山高層住宅Aグループ	3	12
10	宮本	あずま	3	3	50	楠北	こんごちはボランティア	3	4
11		秋桜	3	7	51		楠二グループ	6	5
12		夢	3	5	52		楠東第2友愛訪問グループ	5	5
13		めぐみ友愛グループ	4	11	53		楠東第3グループ	5	5
14		カトレア	3	7	54		楠六自治会第一グループ	5	4
15		野菊グループ	3	3	55		楠六自治会第二グループ	5	4
16		銀杏	3	10	56		楠六自治会第三グループ	5	5
17		さつき	3	9	57		楠グループ	5	5
18		メープル	3	6	58		楠一南友愛グループ	5	5
19		たんぽぽ	3	7	59		楠三グループ	5	7
20		ひまわり	3	9	60		楠五自治会友愛Aグループ	6	7
21		ひなげし	3	6	61		友愛楠一北グループ	5	5
22	すみれ	3	5	62	多間通4丁目友愛グループ	5	4		
23	筒井	ひまわり「友愛」	3	10	63	楠南	絆	5	15
24		一粒の種から	3	6	64		縁	5	9
25	八雲	吾妻5吾妻6友愛訪問グループ	5	9	65		東川崎7丁目Aグループ	5	8
26		ルミナス	4	5	66		川・相グループ	3	7
27	HAT 脇の浜	友愛ニューシルバー脇の浜	3	10	67		東川崎5丁目グループ	5	14
28		HAT神戸脇ノ浜県住第一グループ	4	7	68		相生グループ	5	6
29		HAT神戸脇ノ浜県住第二グループ	4	6	69		すみれ草	5	29
30		HAT神戸脇ノ浜県住第三グループ	3	5	70		相生すずらん会	5	15
31		友愛コスモス	3	12	71		東川崎町なかよしグループ	5	8
32		HAT中央	5	15	72		あじさい	5	18
33		オリーブ	5	15	73		やまびこ	5	15
34		愛好	5	15	74		港島	パークシティ見守り訪問隊A-1	5
35		フラッツベアー	5	15	75	パークシティ見守り訪問隊A-2		5	7
36		小野柄	小野柄第1グループ	3	10	76		パークシティ見守り訪問隊B-1	5
37	小野柄第2グループ		3	7	77	パークシティ見守り訪問隊B-2		5	4
38	小野柄第4グループ		3	14	78	パークシティ見守り訪問隊C		6	5
39	小野柄第6グループ		3	10	79	エバーグリーン友愛訪問グループ		5	8
40	小野柄第7グループ		3	10					
小計								190	343

小計 144 315

対象者数合計	658
--------	-----

資料 3

令和 4 年度児童館来館者数

(単位:人)

	生田川 児童館	八雲 児童館	清風 児童館	神戸諏訪山 児童館	山の手 学童保育コーナー	合計
4 月	501	1,507	911	2,427	1,728	7,074
5 月	401	1,222	751	2,509	1,776	6,659
6 月	614	1,628	952	2,771	1,976	7,941
7 月	694	1,390	820	2,481	1,613	6,998
8 月	794	1,079	885	2,042	1,397	6,197
9 月	614	1,475	778	2,333	1,733	6,933
10 月	694	1,455	798	2,298	1,675	6,920
11 月	794	1,423	816	2,195	1,662	6,890
12 月	599	1,272	796	2,209	1,683	6,559
1 月	624	1,092	617	1,765	1,424	5,522
2 月	566	1,757	498	1,769	1,466	6,056
3 月	514	1,415	627	2,306	1,729	6,591
合計	7,409	16,715	9,249	27,105	19,862	80,340

資料4

令和4年度 共同募金 配分事業一覧

令和3年度 募金実績に基づく令和4年度の配分	¥4,649,088
令和3年度までの繰越残高	¥4,067,397
収入合計 (A)	¥8,716,485

(単位:円)

赤い羽根共同募金配分金事業					
	団体名	配分内容	使用用途	配分額	
高齢	各給食団体	ふれあい給食会助成		470,500	
障害	中央区聴力言語障害者福祉協会	区在住・在職・在学の聴覚障がい者の福祉向上事業	会場費、施設入場料、字幕・通訳謝金 等	108,000	
	神戸市中央区聴力言語障害者福祉協会	区に住む聴覚障がい者活動事業		75,553	
	重度心身障害者(児)父母の会中央支部	いちご狩り、交流会、御苦勞さんプレゼント		108,000	
	神戸市手をつなぐ育成会中央支部	クリスマス会		108,000	
児童	中央区子ども会連合会	交流事業・絵画展		120,000	
	吾妻地域福祉ネットワーク(はいず)	外国にルーツをもつ子どもの支援	はいず(期間拡大募金を充当)	270,000	
課題	神戸市中央区母子福祉たちばな会	日帰り研修旅行		90,000	
公募		赤い羽根地域づくり助成(公募助成)(Aタイプ、Bタイプ)		1,393,000	
その他	中央区保護司会	第70回「社会を明るくする運動」中央区推進事業	広報パレード、公開ケース研究会、小中学生作文コンテスト実施経費	100,000	
	中央区社会福祉協議会		外国人支援(やさしい日本語)		17,475
			子どもの居場所づくり支援		50,000
			次世代育成(福祉学習)		22,715
			子育て包括支援事業		100,000
			子育て応援事業		50,000
			withコロナつながり応援事業		257,152
			コロナ禍での「オンライン」活用事業		121,947
			地域活動の交流の場づくり(支え合いミーティング)		123,508
			かもめんウォークラリー		83,078
		緊急的な課題への対応等		234,520	
	各地区民児協	地区民児協活動助成金等	各地区民児協	491,900	
	中央区連合婦人会	中央区連合婦人会文化スポーツ育成総合事業	神戸まつりパレード、神戸海の盆踊り、民謡のつどい等	300,000	
	配分合計(B)		4,695,348		

A: 収入合計	B: 配分結果	A-B 令和5年度への繰越金
¥8,716,485	¥4,695,348	4,021,137

配分合計 + 繰越金	8,716,485
------------	-----------